

# けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。  
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する  
情報をお知らせします～



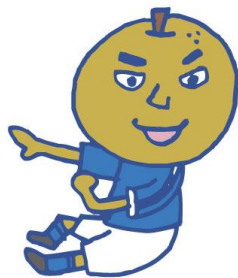
旬を迎えた伊達地方の夏秋きゅうり！



きゅうりは水分とミネラルを豊富に含んで  
いるよ！  
きゅうりを食べて残暑を乗り切ろう！！

## 目次

- ・土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会が終了しました！（農村整備部）・・・P 2
- ・当事務所管内農林土木工事安全パトロールを実施しました！  
（総務部・農村整備部・森林林業部）・・・P 2～P 3
- ・福島県オリジナル水稲品種「福、笑い」の現地検討会が行われました！（農業振興普及部）・・・P 3
- ・「伊達な畑カフェ タ方市」が4周年を迎えました！（伊達農業普及所）・・・P 4
- ・福島駅でもものPRパネルを展示しました！（企画部）・・・P 4
- ・「複合環境制御装置」を活用したいちごの安定生産技術の取組を実証中です！（伊達農業普及所）・・・P 5
- ・未来の農業土木技術者に期待です！（農村整備部）・・・P 6
- ・安達地方HACCPおよび食品栄養成分表示研修会を開催しました！（安達農業普及所）・・・P 7
- ・「第3回ふくしま植樹祭」の参加者を募集します！（森林林業部）・・・P 8
- ・「おいしいくだものいただきます！」第1回フォトコンテスト開催中です！（企画部）・・・P 9
- ・8月30日から9月5日は防災週間です！（森林林業部）・・・P 10
- ・ちょっと一息 今月のインスタ（企画部）・・・P 10



福島県の多彩な農林水産物を代表する「ふくしまイレブン」のキャラクターです



## 土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会が終了しました！

土砂災害防止法は、土砂災害から地域住民の生命・財産を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備などを目的に制定されています。

この法律に基づき平成30年より、農林水産省所管の地すべり危険箇所について、地すべりや土石流の発生のおそれのある区域を調査し、その結果を地域住民の方々に説明を行ってまいりました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により説明会の開催が遅れていましたが、福島市内の2箇所の説明会を7月17日(金)と30日(木)の両日に実施し、関係する8箇所全ての説明を終えました。

説明会では、出席者から近年の豪雨災害に対する避難情報の提供方法や避難所の体制等について質問があり、担当者より回答を行いました。

今後、土砂災害警戒区域、特別警戒の指定を行い、地域住民の方々等への周知を行うとともに、ハザードマップの作成など警戒避難体制の整備を進めていきます。

なお、説明会で使用した基礎調査結果については、最寄りの市町村役場にて閲覧が可能ですので、市町村の担当部署にお問い合わせください。

(農村整備部)



7月17日の説明会



## 当事務所管内農林土木工事安全パトロールを実施しました！

令和2年8月7日(金)に福島市佐原地内の地すべり防止事業「佐原」地区において、当事務所管内工事安全推進協議会による工事現場の安全パトロールを実施しました。

当日は、管内の農林土木工事を受注している施工業者の安全管理担当者や現場代理人、発注者側の監督員等に加えて、福島労働基準監督署の主任監督官や、県北地区の建設業者が建設産業における労働災害撲滅を目的に結成した団体である「RST福島」の方々に参加していただき、総勢22名でそれぞれの立場から現場の安全管理についてチェックを行いました。

現場は、荒川支流の塩ノ川に面した地すべり防止区域内で脆弱な土質であることに加え、7月の長雨の影響で足場が悪い状況でしたが、工夫を凝らして安全対策を実施している点などが評価されました。

今回の安全パトロールの結果をそれぞれの現場で生かしながら、受注者と発注者が協力し、工事の安全に努めていきたいと思っております。

(総務部・農村整備部・森林林業部)





講評



安全標識

## 福島県オリジナル水稲新品種「福、笑い」の現地検討会が行われました！

令和2年7月10日（金）、福島市及び川俣町において、「ふくしま未来農業協同組合『福、笑い』研究会」の現地検討会が開催され、研究会の構成員や関係者等約30名が出席しました。

「福、笑い」は、本県が育成した甘みや香りに特徴のある良食味品種です。栽培にあたっては、GAP認証取得生産者により構成される研究会単位での登録制度により、高品質・良食味米の安定生産を図ることとしています。令和2年度は、来年度からの本格栽培開始に向け、研究会構成員による先行栽培が行われています。

検討会では、県農業総合センターの担当者と、実証ほの担当普及指導員が、栽培方法や生育状況を説明し、各生産者が栽培についてコメントするなど、栽培に関する確認や情報交換が行われました。また、現地実証ほを見学し、生育が順調であることを確認するとともに、穂肥の時期や、施用量について活発な意見交換が行われました。

当事務所では、実りの秋に向け、引き続き高品質・良食味の「福、笑い」の生産支援を行っていきます。

（農業振興普及部）



「福、笑い」現地検討会



「福、笑い」の生育状況(福島市)





## 「伊達な畑カフェ 夕方市」が4周年を迎えました！

伊達地方の農業を担う青年農業者クラブ「DATEC（ダテック）」（会員24名）では、プロジェクト活動として、阿武隈急行保原駅前公園において、平成28年8月から毎月第3木曜日に消費者交流イベント「伊達な畑カフェ 夕方市」（以下「夕方市」）を開催しており、今年8月で4周年を迎えました。

会員は、自ら育てたもも、きゅうり、いちご、りんご、木工品などを販売し、地元農産物等の特徴や魅力を発信しながら、消費者との交流を深めてきました。

この4年間の活動を振り返って、DATEC会員からは「DATECを応援して下さる多くの方に支えられて4年間続けることができた。これからもファンを増やしていけるように美味しい農産物をつくり販売していきたい。」と今後の意気込みを語っていました。

次回の夕方市は、9月17日（木）16：30～18：30に開催する予定です。ぜひ足を運んでみてください。

また、本年度からの新たな取組として、県庁売店での農産物の直売も始まり、さらにInstagramを活用した情報発信を通して、伊達地方の農産物の魅力を発信することとしています。

当所としましても、DATEC活動のさらなる活性化を図るため、本プロジェクト活動を引き続き支援していきます。

（伊達農業普及所）



DATEC夕方市の様子



県庁売店での直売の様子

## 福島駅でもものPRパネルを展示しました！



もものシーズン最盛期を迎えた令和2年8月7日（金）から8月18日（火）まで、JR福島駅在来線コンコースにおいて、旬のももをPRするため福島県くだもの消費拡大委員会による「桃の木」の設置に併せて当事務所から「もものPRパネル」を展示しました。

夏休みで帰省されたり、観光で来られた方々に、「福島のもも」を少しでも身近に感じていただけたらうれしく思います。

（企画部）



パネル展示の様子

**「複合環境制御装置」を活用したいちごの安定生産技術の取組を実証中です！**

伊達農業普及所では、令和元年度から「アグリふくしま革新技術加速化推進事業」を活用して、「いちごの複合環境制御による安定生産」の実証を行っています。

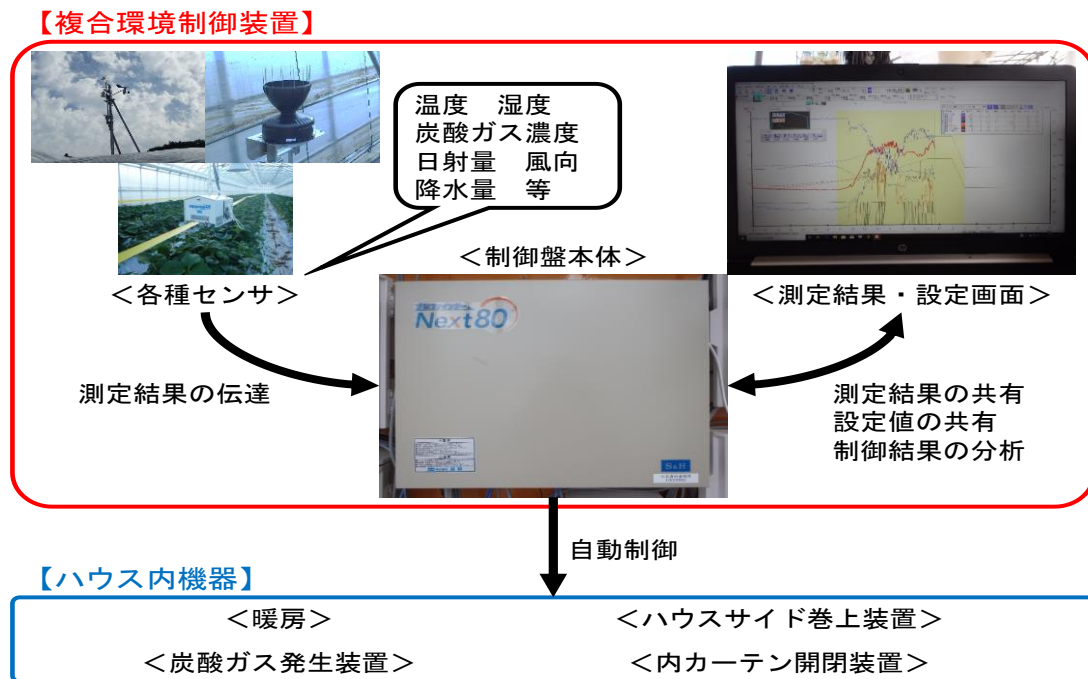
本実証は、いちごに最適な生育環境を確保するために、複合環境制御装置によりいちごハウス内外の様々な環境要因（温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射量、風向、降水量等）を各種センサーで測定し、暖房機やハウスサイド巻上装置等を自動制御し、単収の向上と併せて作業の省力化を目的としています。

実証1年目の結果は、ハウス内の温度や炭酸ガス濃度等が目標値どおりに自動管理され、ハウスサイドの開閉作業は1か月当たり手動時の約150回が省力化され、単収は慣行区と比べ約1割向上した約7トンとなることを確認できました。

この実証成果については、去る6月に開催されたJAふくしま未来伊達地区いちご生産部会栽培出荷反省会において発表し、部会員からも増収と省力化を一層進める新たな技術として期待が寄せられています。

実証1年目の調査は12月より開始しましたが、実証2年目となる今年度は9月の定植時より調査を開始し、実証技術の改善・確立を図るとともに、様々な機会を通じて実証技術や成果を紹介し、普及を図っていきます。

(伊達農業普及所)



(図)「複合環境制御装置」模式図



## 未来の農業土木技術者に期待です！

8月19日（水）から21日（金）までの3日間の日程で農村整備部において、農業土木を専攻する大学生1名をインターンシップ（就業体験）として受け入れました。

期間中、農村整備部で行っている湛水防除事業五十沢地区、経営体育成基盤整備事業貝田地区などの現場見学のほか、復興基盤総合整備事業山木屋地区で委託している測量業務に立ち会い、受注業者の全面的な協力を受け、測量研修を行うなど、多くの業務を経験し、農業土木に関する行政の仕事を学びました。

最終日には、部内報告会が行われ、「インターンシップを通して、大学で学んでいることが仕事に活かされていることを知り、知識不足を感じたので、学生の内に身につけたい」との感想がありました。

たいへん意欲的にインターンシップに取り組んでおり、今後の活躍が期待されます。

県では、今後もインターンシップの受入れを行っていますので、希望される方は、福島県人事課ホームページをご覧ください。

（農村整備部）



測量研修の様子



暗渠排水施工の現場見学の様子



## 安達地方 HACCP および食品栄養成分表示研修会を開催しました！

令和2年8月25日（火）、二本松市岳下住民センターにおいて当所と安達地方の直売所、農産加工所、農家レストラン等による団体である「アグリビジネスネットワークあだち」の共催により「食品栄養成分表示」と「ふくしまHACCP」を用いた衛生管理についての研修会を開催し、直売所職員や農産物加工者、直売所出荷者等42名が出席しました。

「ふくしまHACCP」とは、HACCP（ハサップ：危害要因分析に基づく重要管理点）と放射線物質管理を組み合わせた、福島県独自の衛生管理モデルのことです。

加工食品の栄養成分表示については、義務化の経過措置が今年3月末で終わり、HACCPを用いた衛生管理についても、今年6月1日から義務化（経過措置1年）されたことで、直売所関係者の中には本格実施への意欲が高まっていました。

講師の県北保健福祉事務所の佐藤主任栄養技師と滝沢主査からは、実施ポイントの他、具体的な事例や手順の説明があり、特に「ふくしまHACCP」研修では、実際に管理計画書や工程説明書の作成を行いました。参加者からは「具体的な方法やポイント、改善点がわかった」「ふくしまHACCPは安心安全をPRする良いツールになる」との声が聞かれました。

新型コロナウイルス感染拡大への懸念が続く中、消費者に安心して地元の農産物や加工品を購入してもらえるように、当所ではこれからも直売所や加工所等の支援を行っていきます。

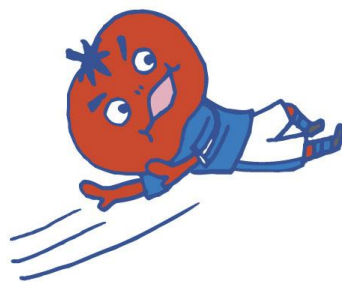
（安達農業普及所）



新型コロナウイルス感染防止のため席間を広げるとり開催



各々工程説明書作成中。会場をまわり質問に答える講師





**「第3回ふくしま植樹祭」の参加者を募集します！**

平成30年6月に開催した第69回全国植樹祭の開催理念を継承し、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトとする「第3回ふくしま植樹祭」が以下のとおり開催されます。

今回の植樹祭は、アカマツやサクラなどの植栽や林内の清掃に加え、様々な参加型プログラムを用意しています。清秋の「昭和の森」へ御家族皆さんでお越しください。

■日時

令和2年10月11日(日)10:30~14:00

※小雨決行・荒天時中止、申し込み締切9月25日(金)

■会場

猪苗代町「福島県昭和の森」

※参加料無料、事前の申し込みが必要。(当日参加はできません)

■お問い合わせ等

ふくしま植樹祭実行委員会事務局 電話 024-521-2550(平日 10:00~17:00)

FAXでの申し込み FAX 024-521-8390

WEBからのお申し込み **第3回ふくしま植樹祭**で検索

参加者①	氏名	性別	年齢	歳
参加者①	氏名	男・女	年齢	歳
	住所	連絡先(携帯)	連絡先(自宅)	
参加者②	氏名	男・女	年齢	歳
	住所	連絡先(携帯)	連絡先(自宅)	
参加者③	氏名	男・女	年齢	歳
	住所	連絡先(携帯)	連絡先(自宅)	
参加者④	氏名	男・女	年齢	歳
	住所	連絡先(携帯)	連絡先(自宅)	
参加者⑤	氏名	男・女	年齢	歳
	住所	連絡先(携帯)	連絡先(自宅)	

チラシ表

チラシ裏



「おいしいくだものいただきます！」第1回フォトコンテスト開催中です！

県北地方はおいしいくだもの産地！！おいしいくだものや、果実を使った6次化商品の写真をInstagramに投稿してください。果樹園でおいしそうに実ったくだもの、くだもの狩りの様子、「食べごろのくだものいただきます！」の瞬間や、「こんな食べ方ありますよ！」などたくさんの投稿をお待ちしております。



このアイコンが目印！

■参加方法

(1) 当事務所のInstagramアカウントをフォローしてください。

「@kenpokunourin 福島県けんぽく農林事務所」で検索するかQRコードを読み込んでください。

(2) 指定ハッシュタグ「#おいしいくだものいただきます」をつけてご自分のInstagramに投稿してください。

■開催期間

令和2年7月15日(水)～9月30日(水)

■お問い合わせ先

県北農林事務所企画部 ☎024-521-2596

■詳しくはHPを御覧ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/oishii-fukushima-itadakimasu.html>

(企画部)

ふくしまからはじめよう、「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部  
おいしいくだものいただきます!キャンペーン  
第1回 フォトコンテスト  
開催期間 令和2年7月15日(水)～9月30日(水)

県北地方はおいしいくだもの産地です！  
県産のくだものや果実を使った6次化商品をInstagramに投稿して応募しよう！

福島県北農林事務所公式アカウント(@kenpokunourin)をフォロー後、指定ハッシュタグ「#おいしいくだものいただきます」をつけて投稿してください。

※公開アカウントでの投稿のみ有効とします。  
※プロ・アマ、自社商品の自撮り・他業間いけません。  
※未成年の方は保護者の同意を得たうえで参加してください。

【賞品】  
1位賞 (1名) 県北の6次化商品詰め合わせ(5,000円相当)  
2位賞 (1名) 県北の6次化商品詰め合わせ(3,000円相当)  
5名賞 (5名) イノキーまたはネズキーキーホルダー  
Instagram映えして賞 (30名) 県北産「天のつゆ」令和2年産新米2合

福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課 (担当: 野島) 024-521-2596 (受付: 10:00～17:15) (ふくしまからはじめよう、「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部)



写真、お待ちしております♪

## 8月30日から9月5日は防災週間です！

防災週間（毎年8月30日から9月5日）は、自然災害から身を守るため、災害について理解を深め、対策を行う期間です。

この世に絶対安全な場所はありません。災害はどこでも起こり得ます。特に近年では台風や豪雨による災害が多発しています。

自分の命を守るため、家の周りの危険な箇所を確認したり、避難所の場所を確認したりするなど、自分の「防災」について見直してみましよう。

防災情報については、各市町村の防災計画または下記 HP を参考にしてください。

○ふくしまぼうさいウェブ(県危機管理課) : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/bousai/>

【防災に役立つ情報(県内のハザードマップや防災ガイドブックなど)】

○ふくしま森マップ : <https://www2.wagmap.jp/fukushima-shinrin/Portal>

【県内の山地災害危険地区情報】

(森林林業部)

ちょっと一息

## 今月のインスタ

令和2年6月11日に開設した当事務所のインスタグラムですが、なんとフォロワーが200人を超えました！

最近人気なのは、農村整備部が投稿した伊達市梁川町の「五十沢排水機場」の写真です。ドローンを駆使し、空からの全景が見られることが人気の秘訣かもしれません。

(企画部)



ドローンで撮った五十沢排水機場

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

